



# 九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

## ■全身麻酔で手術を受ける 患者さんの術前口腔ケア

### 手術前に口腔(こうくう)ケアが必要な理由

- ・歯の表面やお口の中の粘膜にはたくさんの細菌が付着しています。全身麻酔ではお口から気管までチューブを挿管しますが、その際にお口の中の細菌が気管や肺に押し込まれる可能性があります。
- ・進行した虫歯や歯周病を起こす細菌が、全身感染症の原因になることがあります。
- ・歯周病などでぐらぐら動いている歯は、全身麻酔の際に脱臼や脱落の危険性があります。



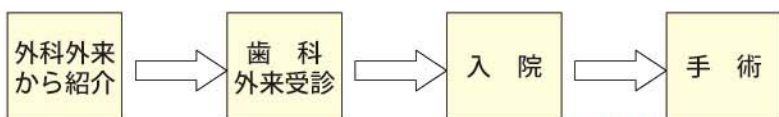
### 術前口腔ケアの内容

- ・歯科専門スタッフにより徹底的に歯石・歯垢の除去を行います。
- ・ぐらぐらしている歯は専用の接着剤で固定したり、マウスピースのようなものを準備します。
- ・全身感染症や術後合併症の原因となりうる歯科疾患の診査を行い、治療が必要な場合、本院歯科診療科や、地域の歯科医院などへご紹介します。
- ・手術前に、患者さんご自身による口腔ケアを指導します。

### 手術前口腔ケアの流れ



手術前に歯ブラシやスポンジ、器械を用いて口腔ケアを行います



必要な歯科治療

直前の専門的  
口腔ケアと指導

診査(X線):  
専門的口腔ケア

口腔ケア・予防外来  
(術前口腔ケア)  
についてのお問い合わせ

◎口腔総合診療科

TEL 092-642-6421

◎全身管理歯科

TEL 092-642-6483

診察日：月一金

(受け付け 8:40-14:00)

エッセイ  
Essay



## 巡り合わせ

睡眠時無呼吸センター長

あんどう しんいち  
**安藤 眞一**

Shin-ichi Ando

1993年ごろ、私の恩師であった当時の教室の教授から、留学先についていくつかの候補をいただき、その一つであるトロント大学に翌年から2年間留学することとなりました。

トロントは元来中華系移民が多いところでしたが、香港返

還がある前年であったため多くの香港人コックがトロントに移住し、中華料理の質が上がっていました。当時、トロントの目抜き通りには日本企業の看板がひしめき、日本の植民地かと思えうほどでした(今はほとんど、ない)。幸運なことに1995年は円がたいへん強くなり、1カナダドルは55円程度にまで低下していったため、日本円の貯金が日々自動的に増えるという、わが家では前代未聞の体験もしました。かくして私たち家族はいい時期に留学生活を送ることができました。

研究室では、おもに循環調節の研究が行われていましたが、たまたまそれとは多少毛色の違う睡眠呼吸障害の研究もやっていました。この時まで、まさか自分が睡眠関連の研究を行うとは思ってもみなかったし、ましてや後に九州大学病院で睡眠時無呼吸センターを立ち上げることになるとは想像もしていませんでした。巡り合わせの妙を感じるこのごろです。



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ①

### 歯 周 病 科

歯周病はプラーク(歯垢)が原因で生じる感染症です。この病気は進行が中等度までの場合、自覚症状に乏しいという特性があります。一度鏡を使ってご自分の歯茎を注意深くご覧になってみてください。歯茎が腫れていませんか。歯がグラグラしていませんか。もしかすると歯周病の兆候かもしれません。

歯周病科では基本的な治療に加え、歯茎の小手術や歯を支える骨の再生治療など実施し、「なるべく歯を抜かずに残す」方針で診療を行っています。治療後は歯茎が健康的に引きしまった状態となり、食べ物をよりしっかりとかめるようになります。歯周病は、糖尿病、動脈硬化、誤嚥(ごえん)性肺炎、低体重児出産などとも関連することがあります。

歯周病の治療により口腔の健康増進、生活習慣病の改善、生活の質の向上等が期待できます。気になる方はご遠慮なくご相談ください。

歯周病科：

<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/04/index.html>



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ②

### 消 化 管 外 科 (2)

当科は、がんを含めたあらゆる食道・胃・大腸疾患の外科治療を専門としています。記録を開始した1964年以降の食道がん切除症例数は1,100例以上で西日本有数の施設です。胃・小腸・大腸では、がんだけでなく、GIST(消化管間葉系腫瘍)や難病である潰瘍性大腸炎、クローン病を含めさまざまな疾患の手術を行っています。



完全うつ伏せ体位による  
食道がん腹腔鏡視下手術の様子

特に、術後の回復が早い腹腔鏡下手術\*を積極的に導入しており、最近では食道がん、胃がん、大腸がんなど手術のほとんどがこの方法となりました(図)。また、外科治療だけでなく、抗がん剤を使用したがんの薬物療法(化学療法)も専門としています。かつては手術ができないと考えられていた進行した胃がんや大腸がんでも、最新の化学療法と併用して手術を行えることがありますので、受診の際主治医にお尋ねください。

\*腹腔鏡下手術：内視鏡を用いた、大きな手術の傷跡が残らない手術(写真参照)

消化管外科(2)：

<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/geka/02/1.html>



大腸がん手術における腹腔鏡下手術の割合

## ■連載 コメディカルを紹介します[4]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

### 臨床研究コーディネータ(CRC)

臨床研究コーディネータ(CRC)は現在、看護師14人・薬剤師5人の計19人で構成し、病院内でおこなわれる治験や臨床研究の協力者として、患者さんやご家族をサポートするとともに、治験や臨床研究がスムーズに実施されるようにさまざまな調整や支援を専門的に行なっています。

また、倫理的で安全・安心な治験や臨床研究を適切に推進することを、目標として業務しています。

このライトブルーのユニホームは、看護師・薬剤師がCRCとして病院内で業務を開始した平成11年より着用しています。

質問などがございましたら、外来診療棟1階「高度先端医療センター患者さま窓口」までお問い合わせください。





## PET 総合がんドック

先進予防医療センター 迎 はる

先進予防医療センターでは、PET-CT 検査を用いた総合がんドックを行っています。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡するといわれる今日において、症状がでる前の早い段階でがんを発見し、治療することはとても重要です。

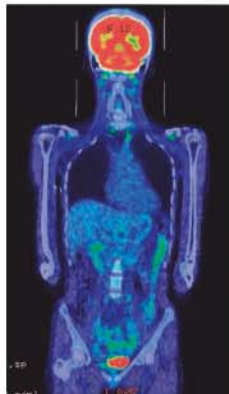
PET 総合がんドックでは、全身のPET-CT 検査に加え、胸部CTや腹部MRI、腹部エコー、胃カメラ、血液検査(9つの腫瘍マーカー、脂質異常症、糖尿病、ピロリ菌の検査などを含む)を行い、PET-CT 検査でわかりにくいがんも見落とさないように検査を組んでいます。男性は4時間半、女性は乳腺のレントゲン、エコー検査を含むので5時間半で全身を効率よく調べることができます。

検査結果は、医師が直接説明しますので、もし病気が見つかった場合でも、本院の各専門外来をご紹介し、病院全体でサポートしますので安心です。もちろん、ご希望の医療機関へ紹介することも可能です。

自分は健康だと感じている50歳以上の方や、がんになられたご家族がいる方にも、是非一度検査を受けていただきたいと思います。



PET-CT 検査装置



FDG-PET 画像

## 九州大学病院別府病院 のご紹介

### 地域医療連携室



平成23年4月の病院名変更に伴い、当室も病診連携室から地域医療連携室へ名称変更するとともに、設置場所を患者さんの利便を考え、正面玄関に近い場所へと移転しました。

人員も新たに事務職員2人を増員配置し、医療ソーシャルワーカー(MSW)と合わせて計3人体制となり、これまで以上に当院と地域医療機関などとの連携がスムーズに行えるようになりました。これまでの医療連携業務に加え、入退院管理業務(病床コントロール)を行い、効率的な病床稼働を行っています。

また在宅療養支援、退院・転院調整業務として、地域で医療・介護サービスなどを利用される患者さんが、地域医療機関などと切れ目のないサービス活用ができるよう連絡・調整業務を展開しています。

今後もお気軽に地域医療連携室をご活用ください。

#### 【お問い合わせ】

地域医療連携室：0977-27-2055(直通)

フリーダイヤル：0120-272-517(専用)

FAX 番号：0977-27-3008

## ■個室のご案内

本院の病室は4人部屋が標準ですが、患者さんのプライバシーや室内設備などに配慮した個室の特別室もあります。

南棟11階には、博多湾を眺望できる特別室A(31,500円/日)と特別室B(12,600円/日)を設置しています。また、北棟・南棟の各階とウエストウイング棟2階にも、各種特別室を設置しています。北棟8階(呼吸器科)には、4人部屋をパネルで仕切った準個室(窓側：1,890円/日、廊下側：1,575円/日)があります。

特別室料は、入退院の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ1日として計算します(1泊2日の場合、特別室料は2日分として計算します)。また、設備(テレビなど)の使用に際し、プリペイドカードの購入が必要な場合があります。

詳しくは、本院ホームページ(入院のご案内「個室のご案内」)をご覧ください。

利用を希望される方は、医師または看護師にお申し出ください。ただし、空室がない場合はお断りをする場合があります。

#### ■個室のご案内(病院ホームページ)

<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/nyuin/koshitsu/>



特別室A(31,500円/日)



ユニットバス(大)

キッチン  
(IHクッキングヒーター)

洗面台(室内)



# 外来診療日一覽

■休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)  
 ■初診受付時間 8:30-11:00(窓口)  
 ■再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)  
 ■外来玄関開閉時間 7:30-18:00

## ■外来診療棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・脾臓・脾臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
	先端医工学診療部 TEL 642-5993	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月-金 ※要紹介状	月-金
	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 642-5719 ※4月から初診も要予約	月・火・水・金	月-金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月-金	月-金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・脾臓・胆道内科 TEL 642-5302	月-金 ※専門の疾患によって曜日が異なります。お問い合わせの上お越しください ※要紹介状	月-金
	先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月-金	月-金
3階/東	ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371 ③心臓血管外科 TEL 642-5565	①月-木 ②火-金 ③月・水・木	①月・水 ②火-金 ③水・木
	皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

## ■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 642-5430	月-金 ※専門医が診察できない場合があります。	月-金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 642-5421	月-金	金
	小児歯科 TEL 642-6465	月-金	月-金
	矯正歯科 TEL 642-6460	月-金	月-金
5階/東	全身管理歯科 TEL 642-6483	月-金	月-金
	顎口腔外科 TEL 642-6445	月-金	月-金
	顔面口腔外科 TEL 642-6450	月-金	月-金
	歯科麻酔科 TEL 642-6479	月-金	月-金
	歯周病科 TEL 642-6425	月-金	月-金
4階/西	歯内治療科 TEL 642-6430	月-金	月-金
	咬合補綴科 TEL 642-6435	月-金	月-金
	義歯補綴科 TEL 642-6440	月-金	月-金
	歯科総合予診 TEL 642-6500	月-金	月-金
4階/東	口腔画像診断科 TEL 642-6471	月-金	月-金
	口腔総合診療科 TEL 642-6490	月-金	月-金

平成23年9月現在

棟階	診療施設等	電話番号	
4階	ストーマ看護外来(月-金)	642-5479	
	助産師外来(月-金)	642-5900	
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	642-5302
		リンパ浮腫外来(火)	642-5985
	2階	外来化学療法室	642-5125
		がん相談支援室・緩和ケア	642-5200
	外来診療棟	総合案内	642-6270
		外来受付	642-5138
		入院受付	642-5150
		公費相談窓口	642-5153
支払窓口		642-5169	
1階		患者さん相談窓口	642-5132
		医療連携センター	642-5165
		社会福祉相談窓口	642-5167
		在宅療養支援室	642-5185
2階		高度先端医療センター	642-5858
	睡眠時無呼吸センター(水・木・金)	642-5988	
南棟	栄養相談室	642-5180	
	時間外受付	642-5163	
1階	リハビリ受付	642-5862	

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください(市外局番は「092」です)。  
 ※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

■人間ドック(先進予防医療センター)  
 TEL 642-5746(月-金、8:30-17:00、要予約)

## 病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

## 外来患者さんへ

◎本院のお薬は原則として「院外処方」としてあります。「院外処方せん発行」にご協力ください。  
 ◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

## ■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

## ■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進